



5月11日、木野川の渡し場跡から西国街道の話題を中継する石原さん。

そんな石原さんの趣味は旅行。海外40カ国を訪れたことがあるというから驚きます。ロケで韓国に行ったとき、初めてパスポートを取得したことがきっかけ。使わないとつまらないと、友達とガーナ、ひとり旅でカンボジアへと足を伸ばし始めます。さらには、レギュラー番組を卒業したタイミングで、単身世界一周へと旅立ちました。

「1回1回行って帰るより効率がいいかなと思って、100日かけてアジアから中東、アフリカ、ヨーロッパ、南米、オセアニアと、19カ国を巡って来ました。」

女性のひとり旅で世界一周とは、行動力に脱帽。その経験を通して、自分自身に変化があったのかという点、思わぬ答えが返ってきます。

「皆さんが思っているほど大変でもハードルが高くも無いんですよ。私、全然英語は話せないんですが、行けちゃったので、ただの旅行だと思えます」と平然とした顔。

南米アルゼンチンのパタゴニアのフィッツ・ロイという、年間数日しか天気が良くなることで有名な山。雲一つ無い晴天で、初日の出を

世界一周ひとり旅

仮面ライダーのお姉さん

石原さんの名刺に書かれている、保育士などの資格にまじって、ちよつと気になる『温泉ソムリエ』という肩書きが目にとまります。

「ただただ温泉好きだったのを取った資格で、効能などから、その人にオススメの温泉を紹介したりするものです。テレビで温泉のロケに行ったりするときに、それっぽく話

大竹の魅力伝える『まちかどスタジオ』石原麻有さん「リポーター」

「リポーター」

Profile 石原 麻有(いしはら まゆ) 1990年生まれ 安芸郡坂町出身 これまでの出演 広島テレビ、広島ホームテレビの番組リポーター、FMちゅービーなど。『ちゅびCOMまちかどスタジオ』大竹市の放送は毎週水曜日15時～生放送(19時30分～、22時30分～再放送) 土・日曜日のいずれかで再放送。

「怪人に襲われる司会のお姉さん」

「学生時代から、司会の仕事をしてきたという石原さん。イベント会場などの仮面ライダーショーの仕事がキャリアの始まりです。

「怪人に襲われる司会のお姉さん」の役があるでしょう。それになりたくてやっています(笑)。

大学卒業後しばらくして、広島テレビの『テレビ派』のリポーターとして、本格的に仕事を始めた石原さん。

「本当はしゃべるのは、すごく苦手なのに、何となく流れで今に至るって感じですよ」と意外な一面も。肩に力が入っていないところが、いい雰囲気を出しているのかもしれない。

迎えることができたのが、最も印象深かったと思ひ返します。

大竹の話題をお届けします

石原さんと大竹の縁は、高校時代にアルバイトの研修で1カ月ほど通ったくらいでした。今回、リポーターとして訪れる機会を得たことで、思うこともあるそうです。

「広島市内からだ、お出かけにちょうどいい距離なのに、あんまり大竹のことを知らないなあと感じていました。でも、リポーターの仕事の良さというか、こうして訪れることができたらラッキーだと思っています。最近、キャンプや登山が好きになってきているのですが、大竹にはキャンプ場や初心者にも登りやすい山があり、アウトドアライフを始めた人には、程良いまちなあと印象が変わりました。」

最後に市民の方へのメッセージを送っていました。

「コロナ禍で旅行がしにくい時期、『まちかどスタジオ』は、広島を旅するような番組にできたらいいなと思っています。水曜日は大竹の話題を中心にお届けしているので、ぜひ見てください。メッセージもお寄せいただけたらうれしいです。」

石原さんに番組で、どんな大竹の魅力を伝えてほしいと思っています。



14



11



9



15



12



10



16



13



5/1 SUN

7 8 若さあふれる晴れ姿、前も後ろも華やかです。



1



4



3



2



6



5



PART1

4司会を務めた浜本ひなさん。56要約筆記サークル「ふたば」、手話サークル「さつき」の皆さんも活躍。

「市長を前に、大河内和哉さんと、上江佑季さんの二十歳の誓い」。受け付けの角井千紘さんは入生終末期の人が音楽でより幸せになれるような環境づくりのための論文を大学で取り組もうと思っていますと20歳の抱負を話してくれました。保護者への感謝の言葉を伝えた島津美夢さん。

感謝の気持ちで『二十歳の誓い』アゼリアおたけ

新型コロナウイルスの影響で、延期になっていた令和3年度の『成人のつどい』が、およそ4カ月遅れで開催され、128人が出席しました。

新成人を代表して大河内和哉さん、上江佑季さんの二人が、「二十歳の誓い」で「今日のこの素晴らしい日を忘れず、感謝の気持ちを持って精いっぱい生きていくことを誓います」と力強く決意を表明。また、高校進学を機に実家を離れた島津美夢さんは、「これまでの恩返しができるよう頑張ります」と受験や進学、ことあるごとに応援してくれた保護者への感謝の言葉を述べました。

式典後の交流会は行われなかったものの、スーツや着物姿ですっかり大人びた同級生や、懐かしい恩師との再会に、マスク越しにも喜びが伝わってくるようでした。

※今年の4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられました。

9市長からの祝辞を聴く出席者。1020歳のバルーンの写真スポットでポーズを取る小方中出身の皆さん。11大竹中サッカー部集合。12先生と一緒に記念撮影。13先生に近況報告の話が弾みます。14大竹中の皆さん、今から写真撮りますよ。15スクラム組んで、はいピース。16ポーズは決まったかな? 玖波中の皆さん。